

◇◇専門講座・秋期分◇◇

※希望の講座を1つ選択してください。

No.	講座名〔定員〕	日程・場所	講師名・講座内容
1	写真上達お助け授業 〔12人〕	9月5日 ～ 12月26日 火曜日 全8回 9：30～11：30 教養センター 美術文学教室、屋外あり	横尾 諭 先生（プライダルカメラマン） 写真を楽しく、今よりもちょっと上手に撮るための考え方と実際の撮影方法を学ぶ。構図と光の扱い方を考え、普段の撮影に取り入れられるようになる。 《資料代》200円：屋外撮影時の入場料、交通費は自己負担
2	<日本近代文学>への誘い ～名作短篇小説、熟読玩味。～ 〔63人〕	9月6日 ～ 12月20日 水曜日 全8回 9：30～11：30 教養センター 大教室	大石 直記 先生（元明治大学教授・前埼玉大学教授） 日本の文学が「近代化」したとはどういうことだったかを、複数の名作短篇小説を読み味わうことで、具体的に考えていきたい。併せて、「読むこと」とはどういうことかを、意識化するよすがとしたい。 《資料代》 200円
3	『狭衣物語』を読む ～異本の愉しみ～ 〔63人〕	9月6日 ～ 12月20日 水曜日 全8回 13：30～15：30 教養センター 大教室	神田 久義 先生（田園調布学園大学非常勤講師） 『狭衣物語』は『源氏物語』と並び称されたほど、人気を博した作品です。また、『狭衣物語』の異本の多さは、物語とは何かを考えさせてくれます。主人公の狭衣と姫君たちの恋物語を、異本と読み比べてみましょう。 《材料費》 200円
4	漢文に親しむ ～『十八史略』の世界（三）～ 〔63人〕	9月7日 ～ 12月14日 木曜日 全10回 13：30～15：30 教養センター 大教室	野地 安伯 先生（元文教大学講師） 『十八史略』の続きを講読します。今回は舞台を唐代に移し、そこに登場する数々の人物の言動を記した文章を講読します。 《資料代》 200円
5	デッサンの基本を学ぶ ～その歴史と重要性～ 〔12人〕	9月12日 ～ 12月19日 火曜日 全8回 9：30～11：30 教養センター 美術文学教室	村田 佳代子 先生（日本美術家連盟会員・村田良策記念アトリエM主宰・鎌倉美術連盟代表・鎌倉市文化協会理事長） デッサンは何故やるのか。描こうとする物をしっかり見る眼を育てるためです。しかし、絵画における物の見方は時代とともに変化してきました。あえて近代絵画の父「セザンヌの眼」を名のり、近現代絵画に適するデッサンを指導し、セザンヌ登場までの美術史も語ります。 《教材費》1,000円程度（初日に販売あり）
6	鎌倉を知る ～歴史・宗教・文化～ 〔63人〕	9月13日 ～ 12月27日 水曜日 全8回 13：30～15：30 教養センター 大教室	白川 宗源 先生（東洋大学非常勤講師）他 鎌倉の現役僧侶を中心とした6名の講師陣による、オムニバス形式の講座です。個性豊かな講師陣が、知られざる鎌倉の歴史・宗教・文化を独自の視点で読み解きます。僧侶ならではの、ここでしか聞けない裏話も?? 《教材費》 200円